

現金 5,200 円 現在の許可証を添付する		医 薬 品 製 造 業 許 可 更 新 申 請 書		
日		製造新市第〇〇号 〇〇〇〇年〇月〇日(許可開始日)		
製 造 所 の 名 称		〇〇〇〇〇〇〇〇		
製 造 所 の 所 在 地		〒〇〇〇-〇〇〇〇 新潟市〇〇区〇〇△丁目△番△号		
許 可 の 区 分		薬局製造販売医薬品		
製 造 所 の 構 造 設 備 の 概 要		薬局等構造設備規則第 1 条第 1 項のとおり		
(法人にあつては) 薬事に関する業務に責任を有する役員の氏名		新潟太郎、新潟花子		
管 理 者 又 は 責 任 技 術 者	氏 名	△△ 〇〇	資 格	薬剤師免許登録番号・年月日 〇〇〇〇年〇月〇日 第・・・・・号
	住 所	〒〇〇〇-〇〇〇〇 新潟市〇〇区〇〇〇丁目△番△号		
に 申 請 者 (法人に 責任を有する役員 にあつては、薬事 に関する業務 の欠格条項	(1)	法第 7 5 条第 1 項の規定により許可を取り消され、取消しの日から 3 年を経過していない者		なし (※)
	(2)	法第 7 5 条の 2 第 1 項の規定により登録を取り消され、取消しの日から 3 年を経過していない者		なし (〃)
	(3)	禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった後、3 年を経過していない者		なし (〃)
	(4)	法、麻薬及び向精神薬取締法、毒物及び劇物取締法その他薬事に関する法令で政令で定めるもの又はこれに基づく処分に違反し、その違反行為があつた日から 2 年を経過していない者		なし (〃)
	(5)	麻薬、大麻、あへん又は覚醒剤の中毒者		なし (〃)
	(6)	精神の機能の障害により製造業者の業務を適正に行うに当たつて必要な認知、判断及び意思疎通を適切に行うことができない者		なし (〃)
	(7)	製造業者の業務を適切に行うことができる知識及び経験を有すると認められない者		なし (〃)
備 考		薬局開設許可年月日 〇〇〇〇年 〇月 〇日 許可番号 新市第〇〇号 担当者氏名： 〇〇 △△ 電話：〇〇〇-〇〇〇〇		

上記により、医薬品の製造業の許可の更新

※法人の薬事に関する業務に責任を有する役員全員
について当該事実がないときは「全員なし」と記載

〇〇〇〇年〇〇月〇〇日

法人の場合は、登記
事項証明書のとおり
に記入してください

住 所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地) 〒〇〇〇-〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇△丁目△番△号
氏 名 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 〇〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 △△

新潟市保健所長 殿

(注意)

- 1 用紙の大きさは、A 4 とすること。
- 2 この申請書は、地方厚生局長に提出する場合にあつては正本 1 通及び副本 2 通、都道府県知事、保健所を設置する市の市長又は特別区の区長に提出する場合にあつては正本 1 通提出すること。
- 3 字は、墨、インク等を用い、楷書ではつきりと書くこと。
- 4 収入印紙は、地方厚生局長に提出する申請書の正本にのみ貼り、消印をしないこと。
- 5 許可の区分欄には、第 25 条第 1 項から第 3 項までの各号又は第 137 条の 8 各号のいずれに該当するかを記載すること。
- 6 製造所の構造設備の概要欄にその記載事項の全てを記載することができないときは、同欄に「別紙のとおり」と記載し、別紙を添付すること。
- 7 申請者の欠格事項の(1)欄から(4)欄までには、当該事実がないときは「なし」と記載し、あるときは、(1)欄及び(2)欄にあつてはその理由及び年月日を、(3)欄にあつてはその罪、刑、刑の確定年月日及びその執行を終わり、又は執行を受けることがなくなつた場合はその年月日を、(4)欄にあつてはその違反の事実及び違反した年月日を記載すること。
- 8 申請者が他の区分の製造業の許可を取得している場合には、備考欄に当該許可の区分及び許可番号又は当該登録の登録番号を記載すること。